

## 2026年度 一般選抜（後期）（初等教育学科）〈特別小論文方式〉

「特別小論文」（2026年3月9日実施）

---

|         |                                             |
|---------|---------------------------------------------|
| 合否判定の方法 | 《小論文》《面接》<br>特別小論文（100点）および面接（100点）により評価する。 |
| 合否判定の基準 | 小論文：B（60点）以上、面接：B（60点）以上、総合評価：B（120点）以上     |

**《小論文》****出題意図**

知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を幅広く測るため、事前に公表される初等教育学科の学びに関連するテーマの内容を踏まえて、自分の考えを800字以内でまとめてもらう。

**公表テーマ等**

テーマ：「リアル世界での人間ならではの学び」

近年、生成AI（人工知能）の発展により、私たちの生活や学びのあり方は大きく変化してきています。総務省の調査でも、AIを利用する人の割合が年々増えてきていることが分かります。このようにAIの利用が急速に拡大する中、リアル世界での人間ならではの学びの大切さも指摘されます。なぜでしょうか。

あなた自身がAIを使わずに取り組んだ経験の中で、「これはリアル世界での人間ならではの学びだった。やってよかった。」と感じたことを、その理由も含め、整理しておいてください。